

施設類型ごとの評価と再配置の方向性の主な修正箇所の概要

No	施設大分類	施設中分類	2. 施設の現状と課題及び評価 〈評価〉			4. 再配置のテーマと方向性 〈再配置の方向性〉		
			修正前	修正後 ※赤字：修正箇所	修正理由	修正前	修正後 ※赤字：修正箇所	修正理由
1	市民文化系施設	a. 集会施設 (センター的施設)	・提供主体：(1) 行政主体	・提供主体：(2) 行政主体 (一部民間)	地域での維持・管理・運営を検討していく施設があるため。			
		a. 集会施設 (地区公民館)	・提供主体：(3) 民間主体 (一部行政)	・提供主体：(4) 民間主体	地域に譲渡し維持・管理・運営を図っていく施設であるため。	・今後の施設の在り方については、地域の住民意向を踏まえつつ、土地・建物を地元へ譲渡し、地元主体での施設の維持・管理、運営を目指す。コミュニティ施設に留まらない特異性のある施設については、行政が関わりながら、維持・管理、運営を行う。	・今後の施設の在り方については、地域の住民意向を踏まえつつ、土地・建物を地元へ譲渡し、地元主体での施設の維持・管理、運営を目指す。コミュニティ施設に留まらない特異性のある施設については、行政が関わりながら、維持・管理、運営を行う。	当該類型の対象施設から、「長崎会館」を施設大分類の「13 その他」へ移動したため。
		b. 文化施設	・提供主体：(1) 行政主体	・提供主体：(2) 行政主体 (一部民間)	民間を主体としたサービス提供の可能性についても、検討していく必要があるため。			
2	社会教育系施設	a. 図書館	・提供主体：(1) 行政主体	・提供主体：(2) 行政主体 (一部民間)	民間を主体としたサービス提供の可能性についても、検討していく必要があるため。	・市民文化系施設、スポーツ・レクリエーション系施設、学校・教育系施設など、関連する施設と連携を図ることも必要である。	・長期的には施設の統廃合を検討するとともに、市民文化系施設、スポーツ・レクリエーション系施設、学校教育系施設など、関連する施設と連携を図る事も必要である。	同一圏域内(市全域)に複数の施設を有し、供給量も類似自治体と比較して多いことから、統廃合の方向性を検討する必要があるため。
3	スポーツ・レクリエーション系施設	a. スポーツ施設	・供給量：(3) やや多い	・供給量：(2) 類似団体との比較ではやや少ないが、機能面で類似する施設があることや、将来人口の減少により施設利用者の減少が予測されることから、供給量について検討する必要がある。	類似団体との比較結果で平均を下回る施設があったため。	・体育館、グラウンド、温水プールなど、健康づくりやスポーツを支える施設としての機能の展開を図る。	・体育館、グラウンド、温水プールなど、健康づくりやスポーツを支える施設として機能展開を図るとともに、公園内にある同種施設の機能統合を図る。	同一圏域内(市全域)に機能面で類似する施設があることや、将来人口の減少により施設利用者の減少が予測されることから、同種施設の機能統合を検討する必要があるため。
		b. レクリエーション施設・観光施設				・記載なし	・順天堂バス停トイレや順天堂バス待合所は、民間施設の活用等により民間移管を検討する。	市内他のバス停と比較して特異な状況にあることから、民間移管を検討する必要があるため。
5	学校教育系施設	b. その他の教育施設	・提供主体：(1) 行政主体 ・供給量：(3) やや多い 供給量では再配置の自由度は比較的高いが、提供主体と提供圏域、機能・汎用性では再配置の自由度が低い。全体として、実現できる再配置手法は限られてくる。	・提供主体：(3) 民間主体 (一部行政) ・供給量：(4) 多い。 提供主体や供給量では再配置の自由度は比較的高いが、提供圏域や機能・汎用性では再配置の自由度が低い。全体として、実現できる再配置手法はある程度限られてくる。	民間を主体としたサービス提供の可能性についても、検討していく必要があるため。また、類似自治体との比較で施設数が多い施設類型であったため。	・施設の特徴から、基本的には行政が中心となり施設の運営・管理を行うとともに、調理は民間委託で行い、継続的な維持を図る。	・施設の特徴から、基本的には行政が中心となり施設の運営・管理を行うとともに、調理は民間委託で行い、民間移管等を検討する。	給食センターは、民間でのサービス代替が可能となる施設であることから、近年の他市の動向等も鑑み、民間移管等を検討する必要があるため。

No	施設 大分類	施設 中分類	2. 施設の現状と課題及び評価 〈評価〉			4. 再配置のテーマと方向性 〈再配置の方向性〉		
			修正前	修正後 ※赤字：修正箇所	修正理由	修正前	修正後 ※赤字：修正箇所	修正理由
7	保健・福祉施設	a. 高齢者福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> 提供圏域：(2) やや地域的 <p>提供主体や機能・汎用性の面では再配置の自由度は高く、提供圏域や供給量では再配置の自由度は低い。全体として、実現できる再配置手法は限られてくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 提供圏域：(3) 市全域から広く市民が利用するサービスであり、やや広域的な位置付けである。 <p>提供主体、提供圏域、機能・汎用性の面では再配置の自由度は高く、供給量では再配置の自由度は低い。全体として、多様な再配置手法をある程度選択できる可能性がある。</p>	サービスの提供圏域は、各施設とも全市を対象にしているため。			
		b. 保健施設	<ul style="list-style-type: none"> 供給量：(3) やや多い 	<ul style="list-style-type: none"> 供給量：(1) 少ない。施設のニーズ拡大等が見込まれる。 	類似自治体との比較によると、延床面積や1施設当たりの規模が平均を大きく下回っているため。			
8	医療施設	医療施設	<ul style="list-style-type: none"> 提供主体：(3) 民間主体(一部行政) 	<ul style="list-style-type: none"> 提供主体：(4) 民間主体 	現在の利用実態より、貸与を受けている団体による所有が望ましいため。			
9	行政系施設	b. その他行政系施設				・記載なし	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用実態を踏まえ、地域への移譲等も検討する。 	公民館としての利用もなされていることから、地域への移譲等を含めた検討が必要のため。
11	公園	公園	<ul style="list-style-type: none"> 提供量：(2) やや少ない 機能・汎用性：(4) 高い <p>提供主体、提供圏域、機能・汎用性からは再配置の自由度は高く、供給量では再配置の自由度はやや低い。全体として、多様な再配置手法をある程度選択できる可能性はある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 供給量：(4) 多い。 機能・汎用性：(2) サービスを提供するために必要な専門機能又は特殊な設備が備わっており、他の用途で利用することが可能な部分は一部であるため、機能・汎用性はやや低い。 <p>機能・汎用性では再配置の自由度は限られるが、提供主体、提供圏域、供給量の面ではある程度の再配置の自由度がある。全体として、多様な再配置手法をある程度選択できる可能性がある。</p>	類似自治体との比較によると、延床面積や1施設当たりの規模が大きく上回っているため。また、公園施設の中には、トイレや管理棟など公園固有の施設があり、これは汎用性が無いため。			
13	その他	その他				・記載なし	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ施設に留まらない特異性のある施設については、行政が関わりながら、維持・管理、運営を行う。 	当該類型の対象施設に、「長崎会館」を加えたため。